



2016年9月期第1四半期 決算概要 (2015年10月1日～2015年12月31日)

シミックホールディングス株式会社

2016年2月4日

事業セグメントとグループ各社

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2015年12月末時点）
CRO事業	製薬企業の医薬品開発支援及び分析化学サービスに係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックバイオリサーチセンター シミックファーマサイエンス(株) CMIC, Inc. CMIC Korea Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD. CMIC(Beijing) Pharmaceutical Services Co., Ltd. CMIC(Beijing) Co., Ltd.
CMO事業	製薬企業の医療用医薬品及び一般用医薬品などの製造支援に係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO足利(株) CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation シミックJSRバイオロジックス(株) ※
CSO事業	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援及び医療、製薬業界向けBPO・人材サービスに係る業務	シミック・アッシュフィールド(株) (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
ヘルスケア事業	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	シミックホールディングス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック CMIC VIETNAM COMPANY LIMITED
IPD事業	診断薬やオーファンドラッグなどの開発及び販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

青字表記は海外。※印は関連会社。

●2015年10月1日付で(株)応用医学研究所は、(株)JCLバイオアッセイを吸収合併し、商号をシミックファーマサイエンス(株)に変更しております。

2016年9月期 第1四半期 総括

Project Phoenix ~業績V字回復と持続的成長を目指して~

・ CRO事業 日本市場参入の支援業務と非臨床業務の強化

2015年10月 (株)応用医学研究所と(株)JCLバイオアッセイを合併し、シミックファーマサイエンス(株)として非臨床業務の機能強化

2015年11月 株式会社シフトゼロとの資本業務提携に関する基本合意
Medidata Solutionsとの連携強化によるEDCサービスの充実

・ CMO事業 構造改革の推進と新規受注の獲得

2015年10月 シミックCMO足利(株)における新注射剤棟建設計画を公表

・ CSO事業 MR派遣業務の受注力強化とサービスモデル拡充

・ ヘルスケア事業 新規受注の獲得とコスト削減

・ IPD事業 黒字化に向けた売上拡大

2015年10月 (株)オーファンパシフィックがアステラス製薬株式会社より承継した「ダントリウム®」「アストミン®」を販売開始

連結損益計算書 (要約)

	2015/1Q		2016/1Q		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
売上高	13,063	100.0	14,633	100.0	+1,569
営業利益	△16	-	515	3.5	+531
経常利益	△34	-	523	3.6	+558
親会社株主に帰属 する四半期純利益	231	1.8	204	1.4	△27
1株当たり 四半期純利益	12円91銭		10円91銭		

セグメント別売上高及び営業利益

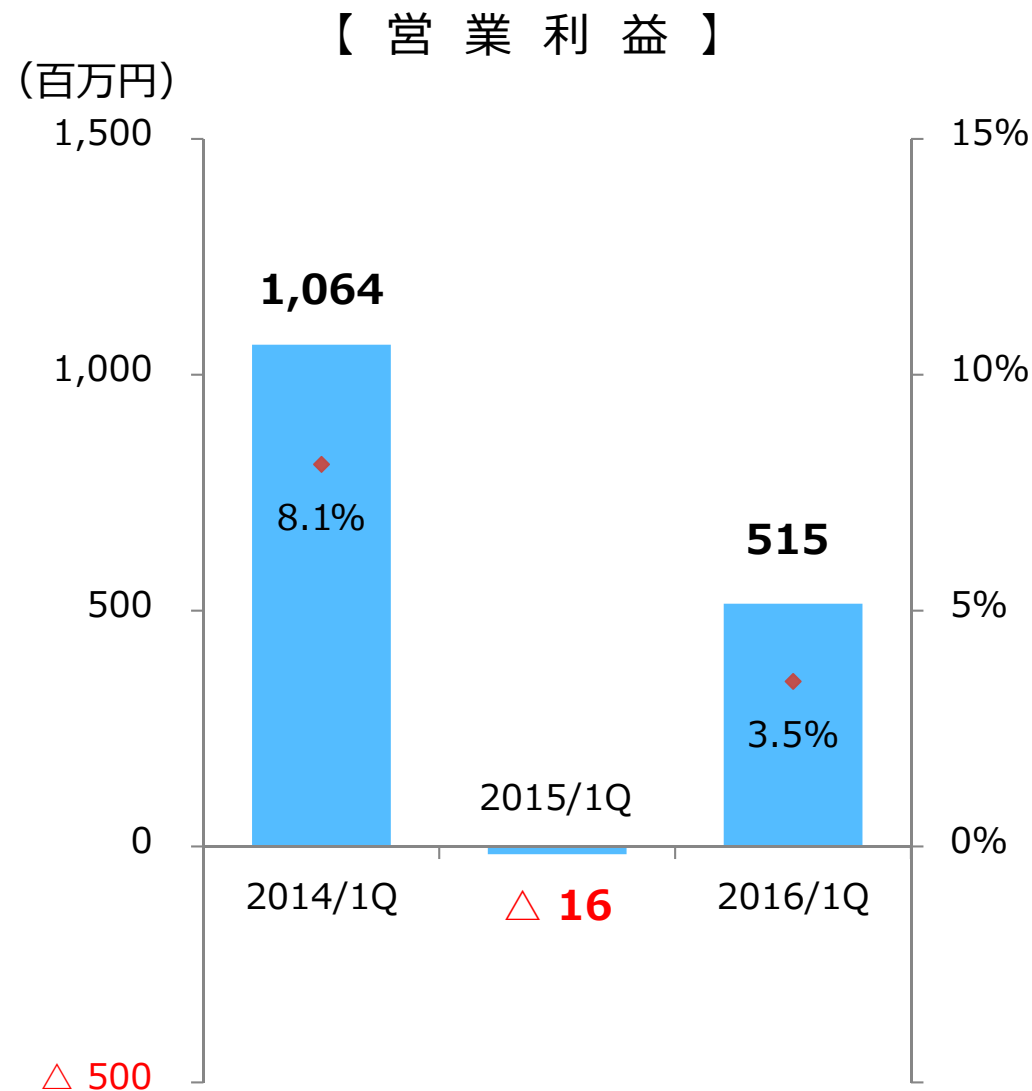
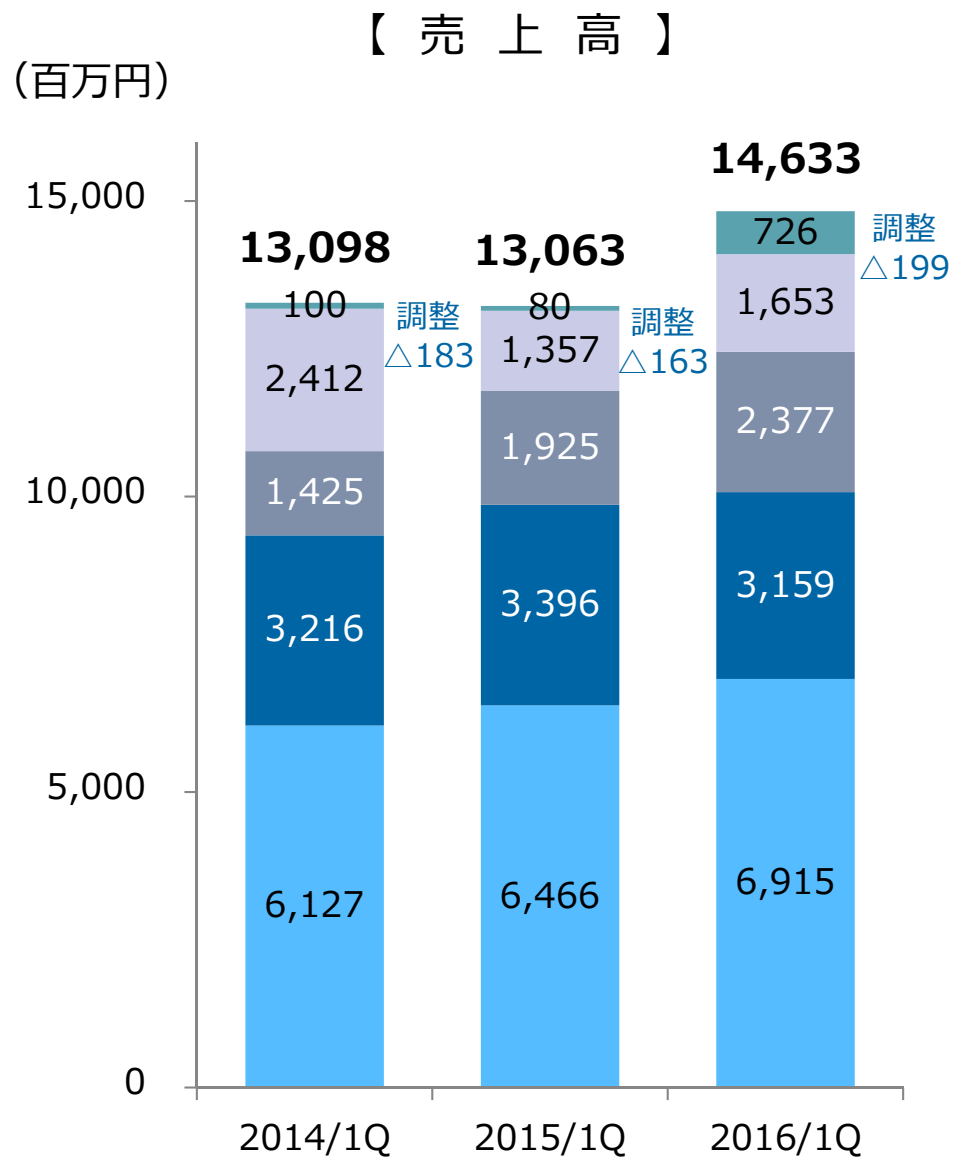
		2015/1Q	2016/1Q		
		金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	売上高	6,466	6,915	449	+7.0
	営業利益	1,136	832	△303	△26.7
C M O 事業	売上高	3,396	3,159	△237	△7.0
	営業利益	△110	△68	42	—
C S O 事業	売上高	1,925	2,377	451	23.4
	営業利益	28	207	179	637.5
ヘルスケア事業	売上高	1,357	1,653	295	21.7
	営業利益	△301	△8	292	—
I P D 事業	売上高	80	726	646	800.5
	営業利益	△189	93	282	—
調 整 額	売上高	△163	△199	△36	—
	営業利益	△579	△541	38	—
合 計	売上高	13,063	14,633	1,569	12.0
	営業利益	△16	515	531	—

受注高・受注残高

	2015/1Q		2016/1Q			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	増減率 (%)	受注残高 (百万円)	増減率 (%)
C R O 事業	7,943	39,727	7,859	△1.1	43,431	+9.3
C M O 事業	2,814	3,089	3,302	+17.4	3,398	+10.0
C S O 事業	1,964	5,651	1,516	△22.8	6,474	+14.5
ヘルスケア事業	1,559	8,492	1,409	△9.6	8,677	+2.2
I P D 事業	65	133	663	+913.6	291	+118.8
合 計	14,347	57,094	14,752	+2.8	62,272	+9.1

CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上。顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので受注残高には含めていない。

連結売上高および営業利益の推移

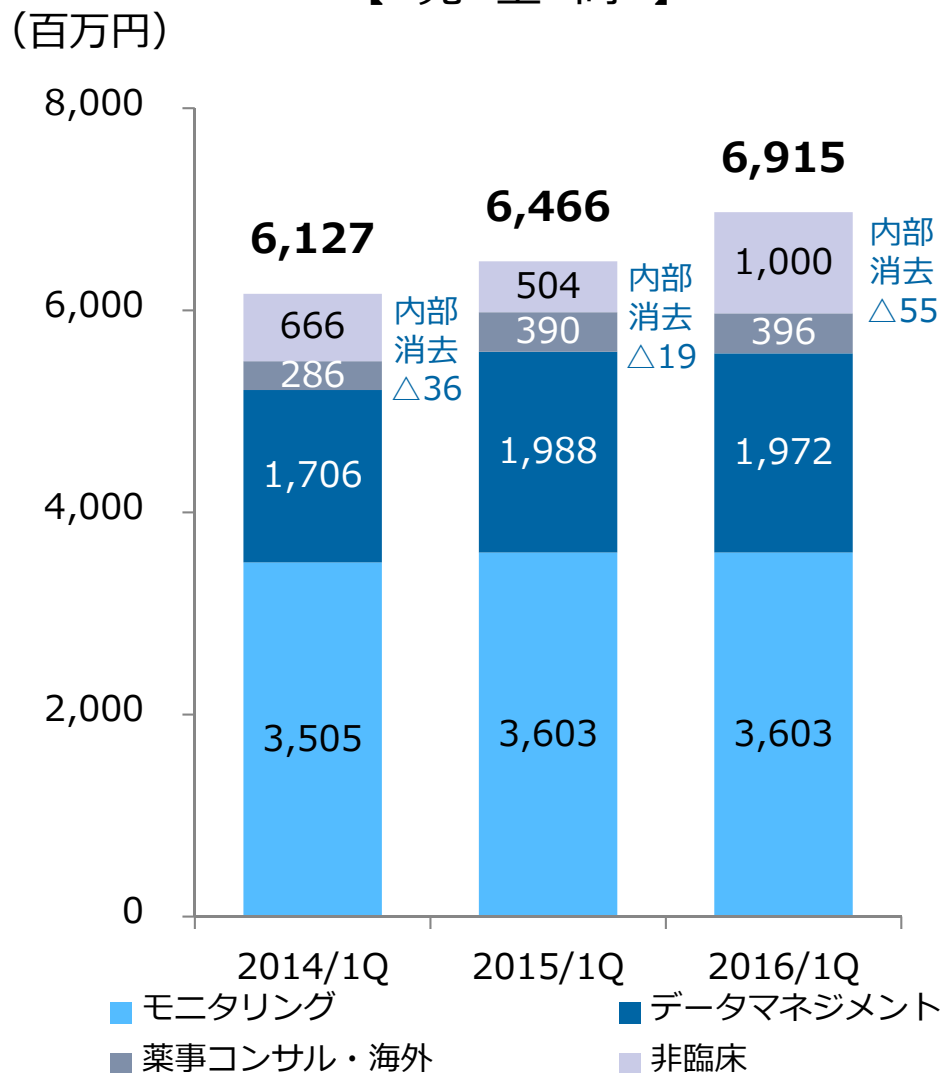


■ CRO事業 ■ CMO事業 ■ CSO事業 ■ ヘルスケア事業 ■ IPD事業

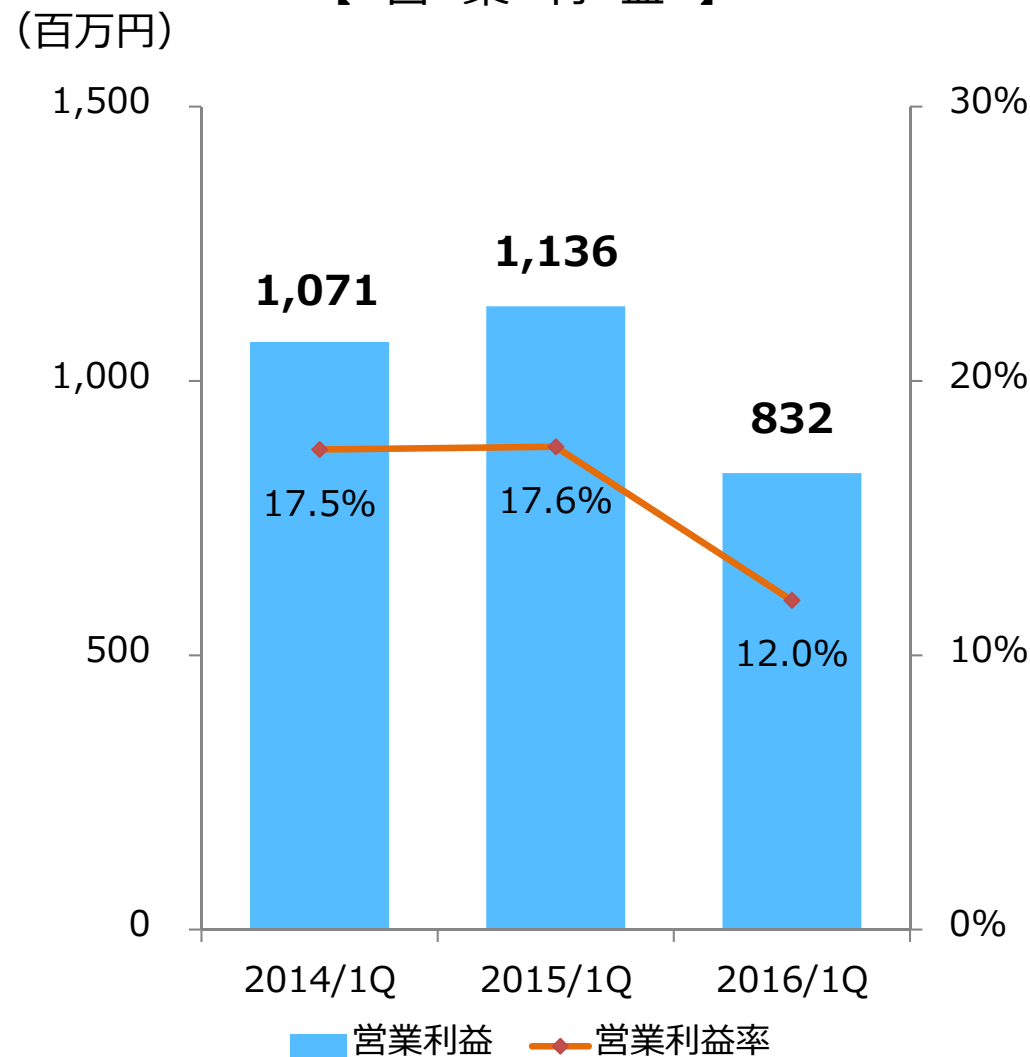
■ 営業利益 ◆ 営業利益率

医薬品開発支援（CRO）事業

【売上高】



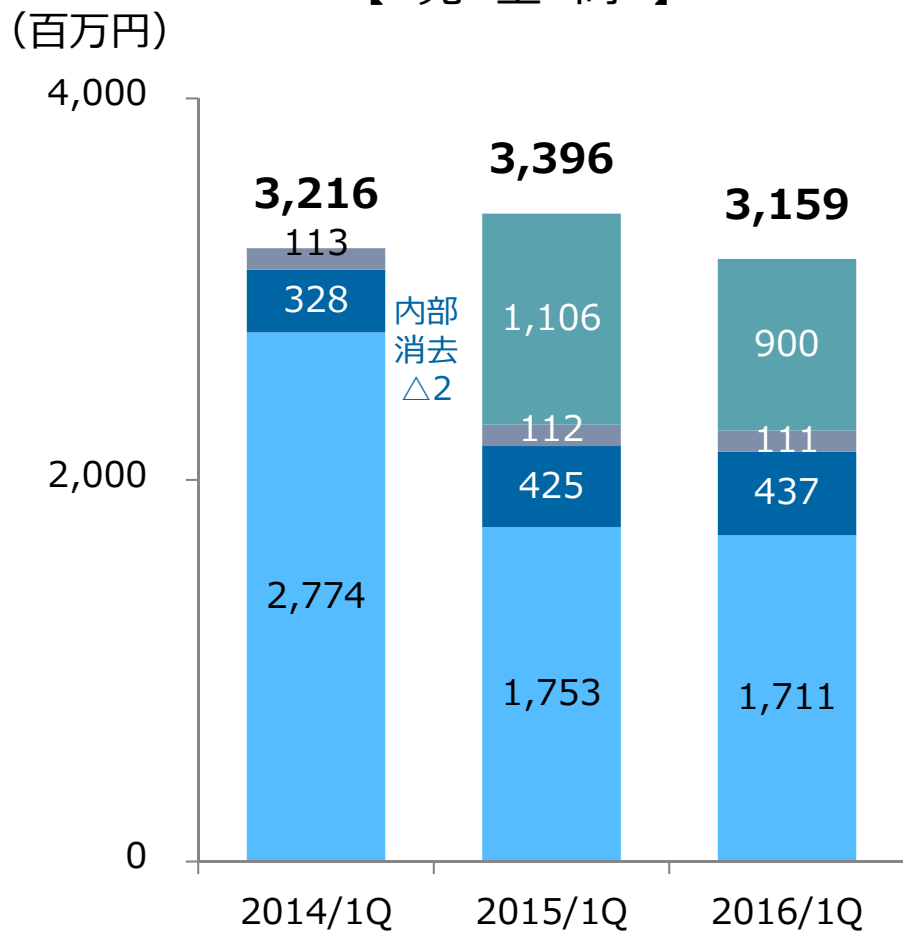
【営業利益】



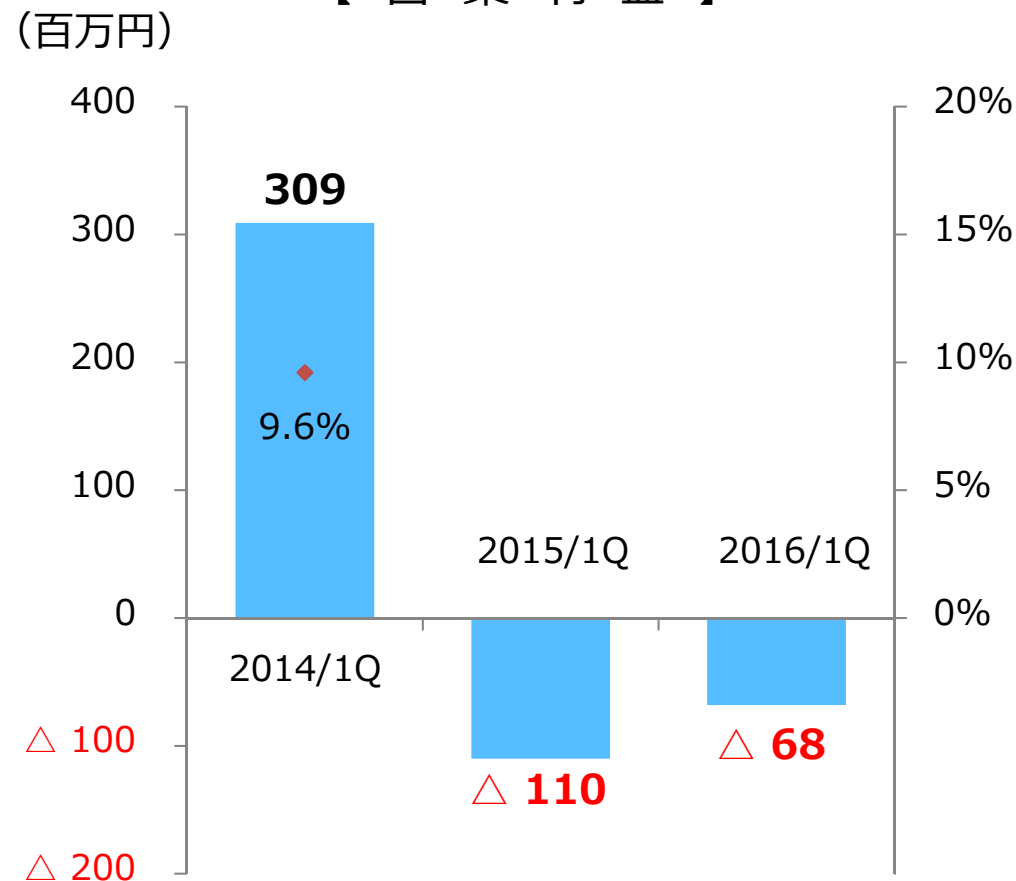
グローバル開発案件や治験国内管理人業務等を拡大。分析化学サービス等の非臨床業務を強化中。モニタリング業務及びファーマコヴィジランス業務等における新規受注及び既存案件が堅調に進捗、JCLバイオアッセイの売上が加わったことにより売上高は前年同期を上回る。営業利益は非臨床業務受注遅れやのれん償却費増加、データマネジメント等の価格競争等の影響により前年同期を下回るが、概ね計画通りに進捗。

医薬品製造支援（CMO）事業

【売上高】



【営業利益】

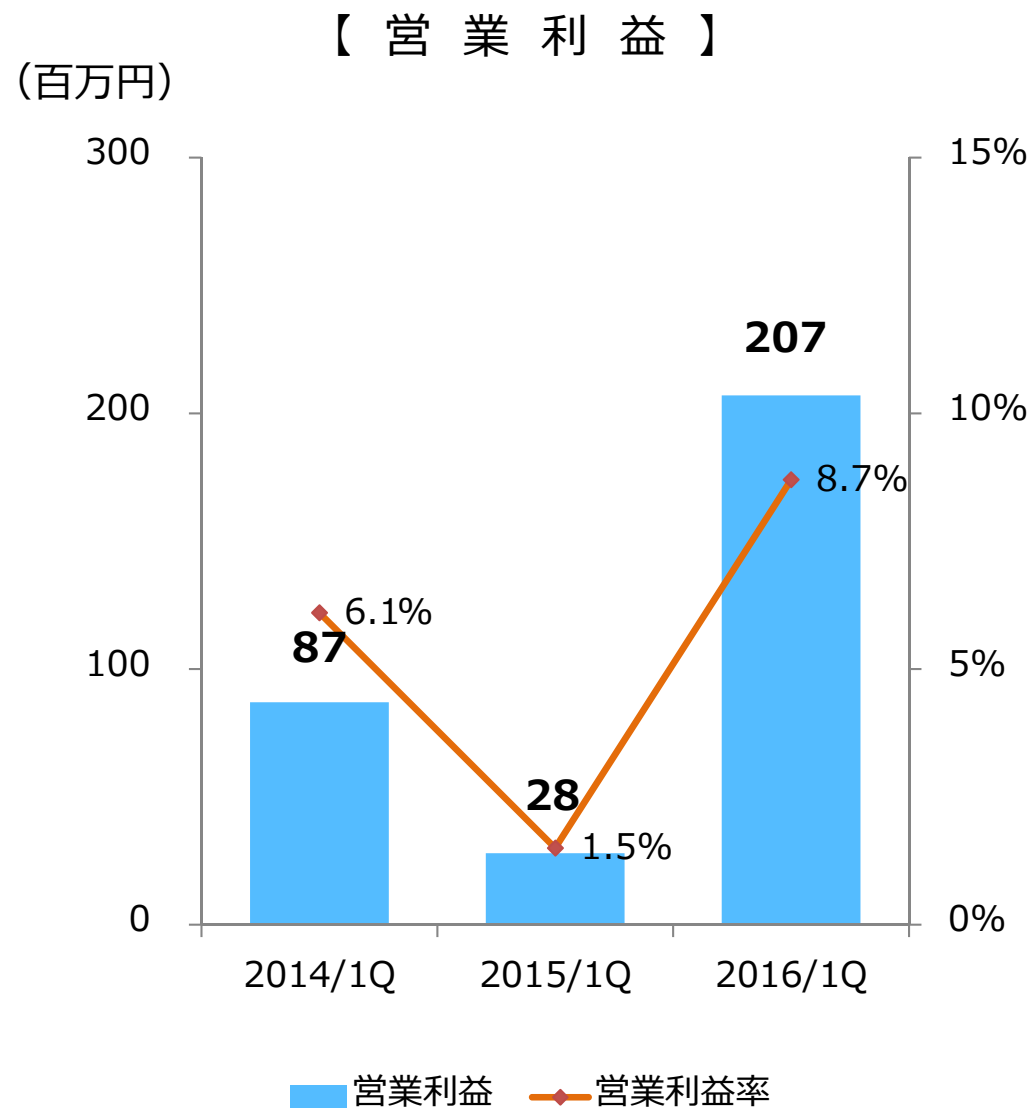
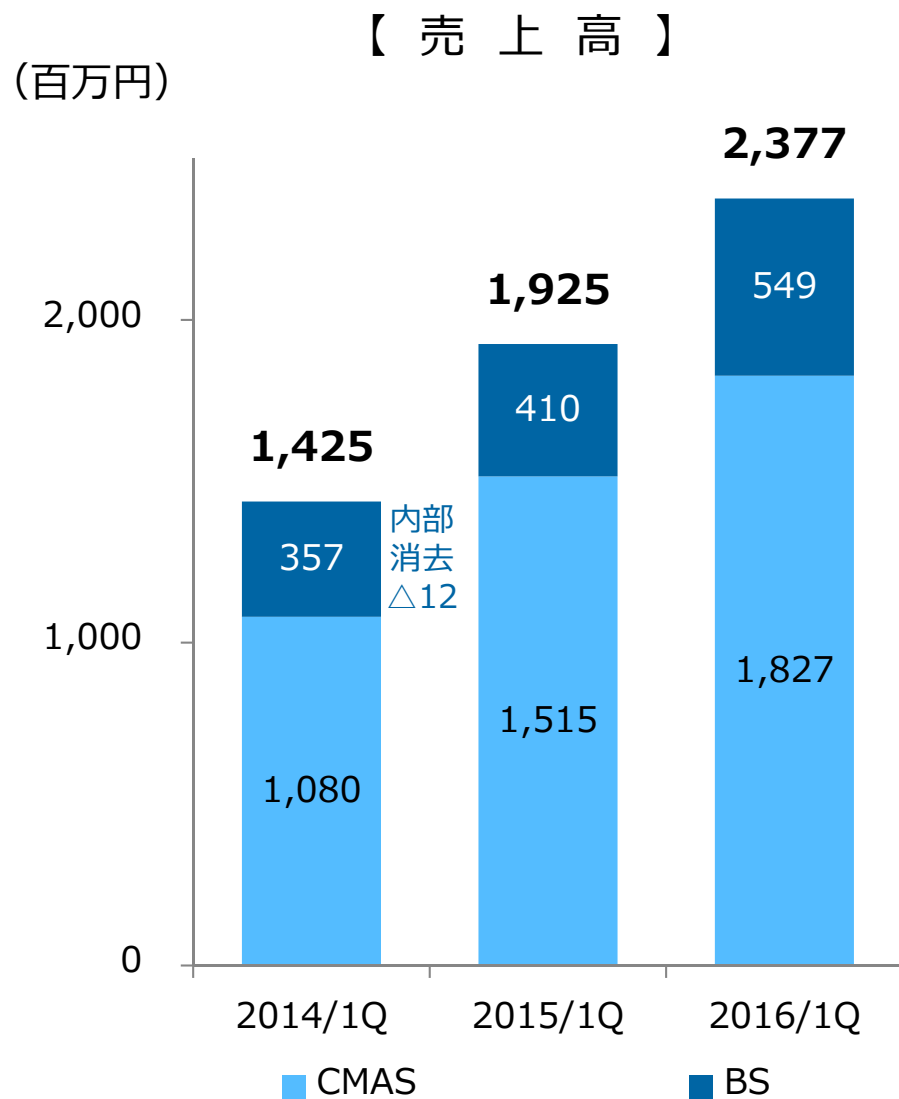


■ CMO (静岡・富山) ■ CCU (米国) ■ CCK (韓国) ■ 足利

■ 営業利益 ◆ 営業利益率

構造改革の取り組みにより、価格競争力強化、営業活動強化を推進、案件の引合いが増加傾向。売上高は一部受託製品の納入時期の変更及び生産量の減少の影響により前年同期を下回るが、コスト構造改革取組みの効果等により、営業損失は縮小。

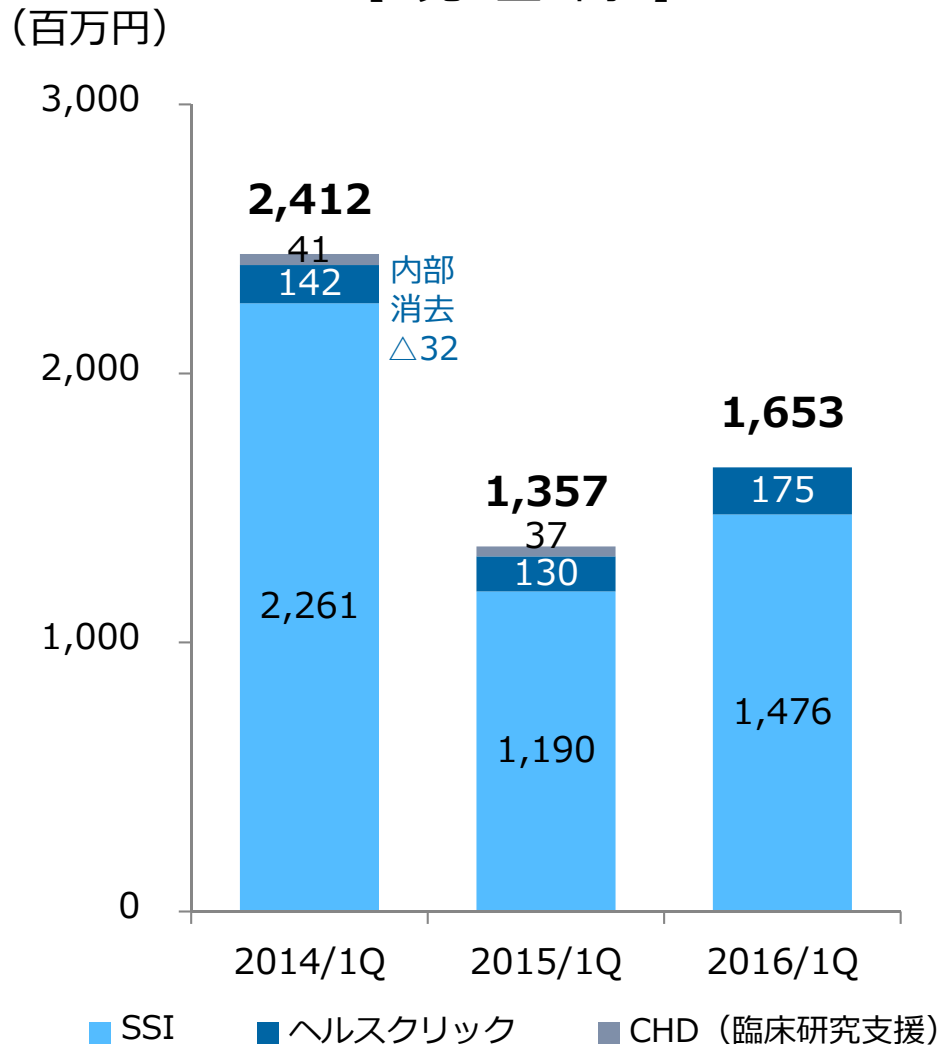
医薬品営業支援（CSO）事業



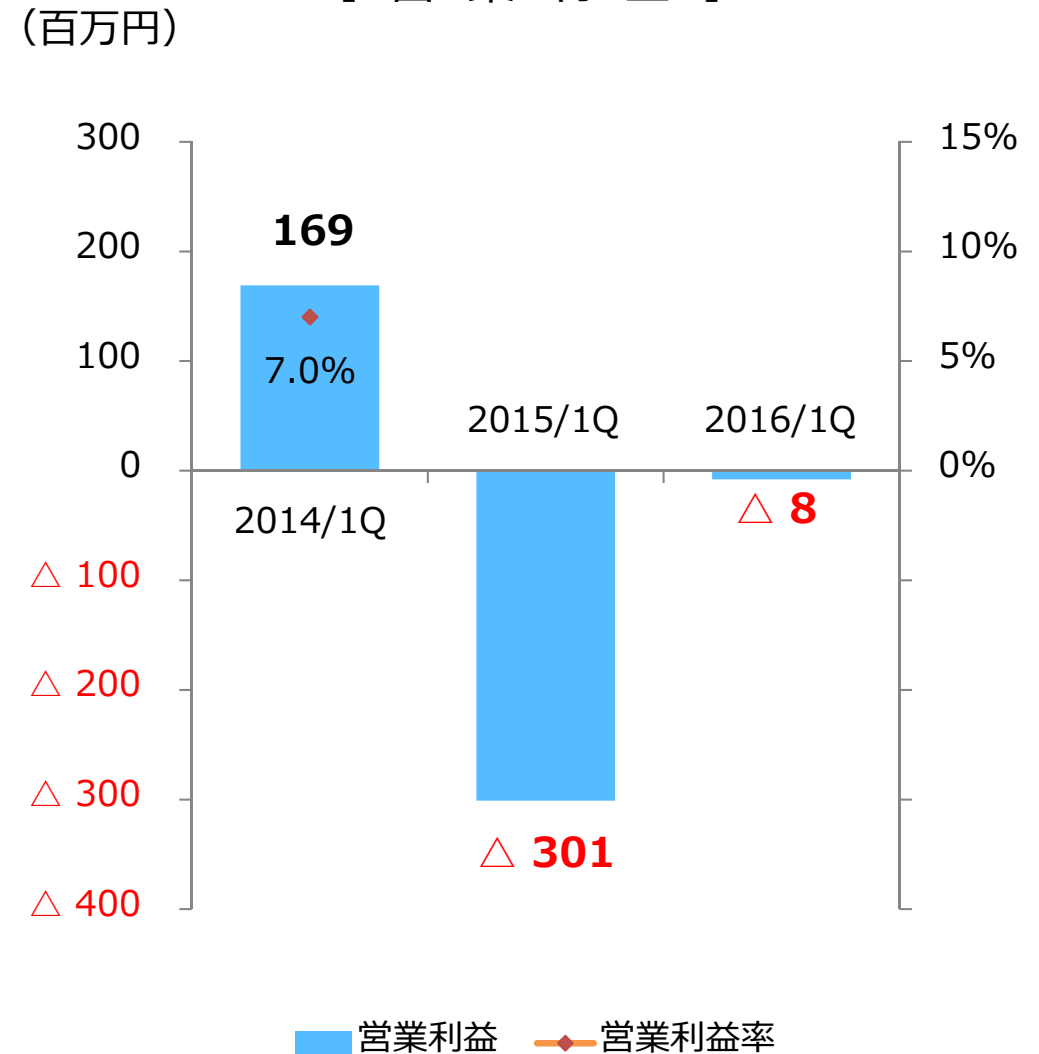
合併会社シミック・アッシュフィールドにおいて、受注力強化およびサービスモデル拡充に取り組む。MR派遣業務及びBPOサービスの既存案件が好調に進捗したことにより、売上高及び営業利益が前年を上回る。

ヘルスケア事業

【売上高】

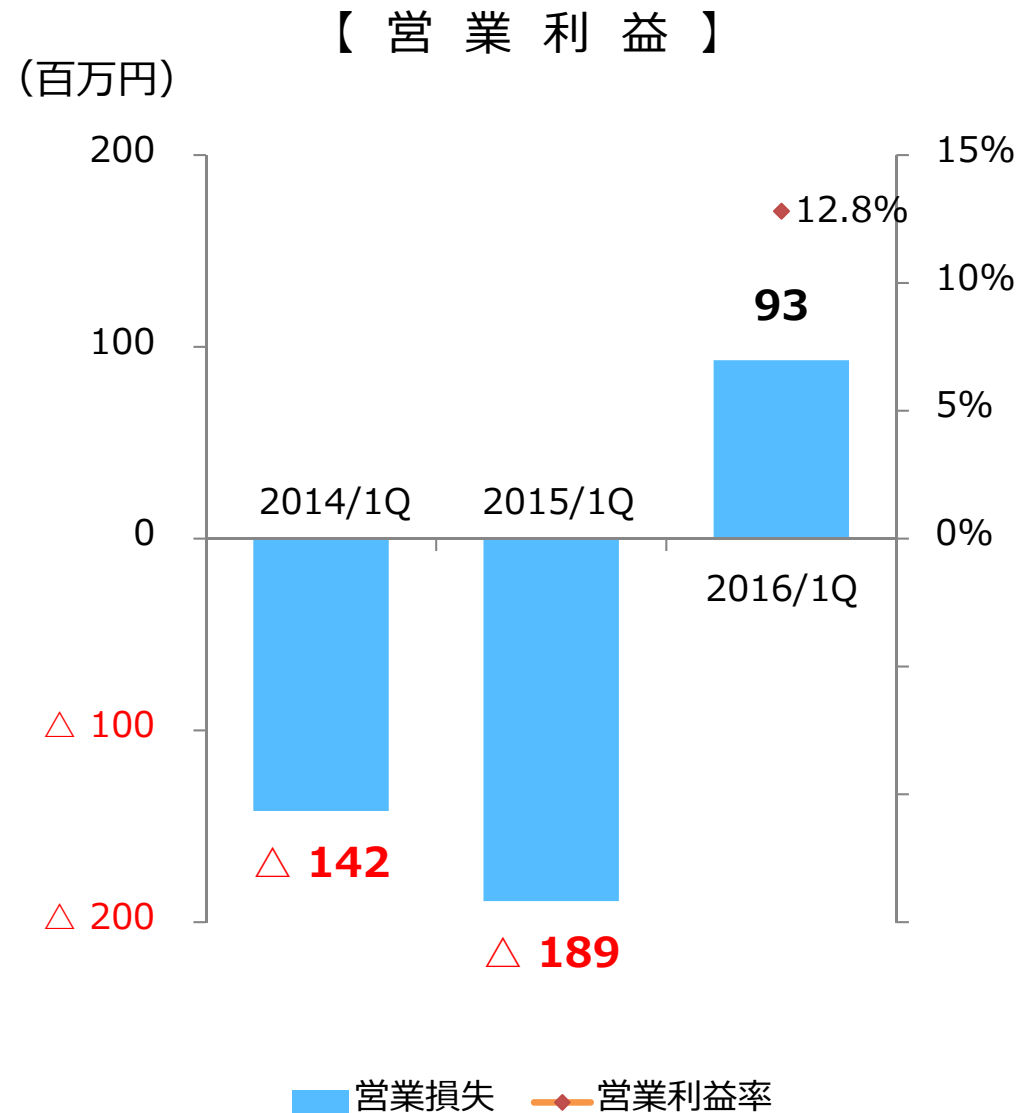
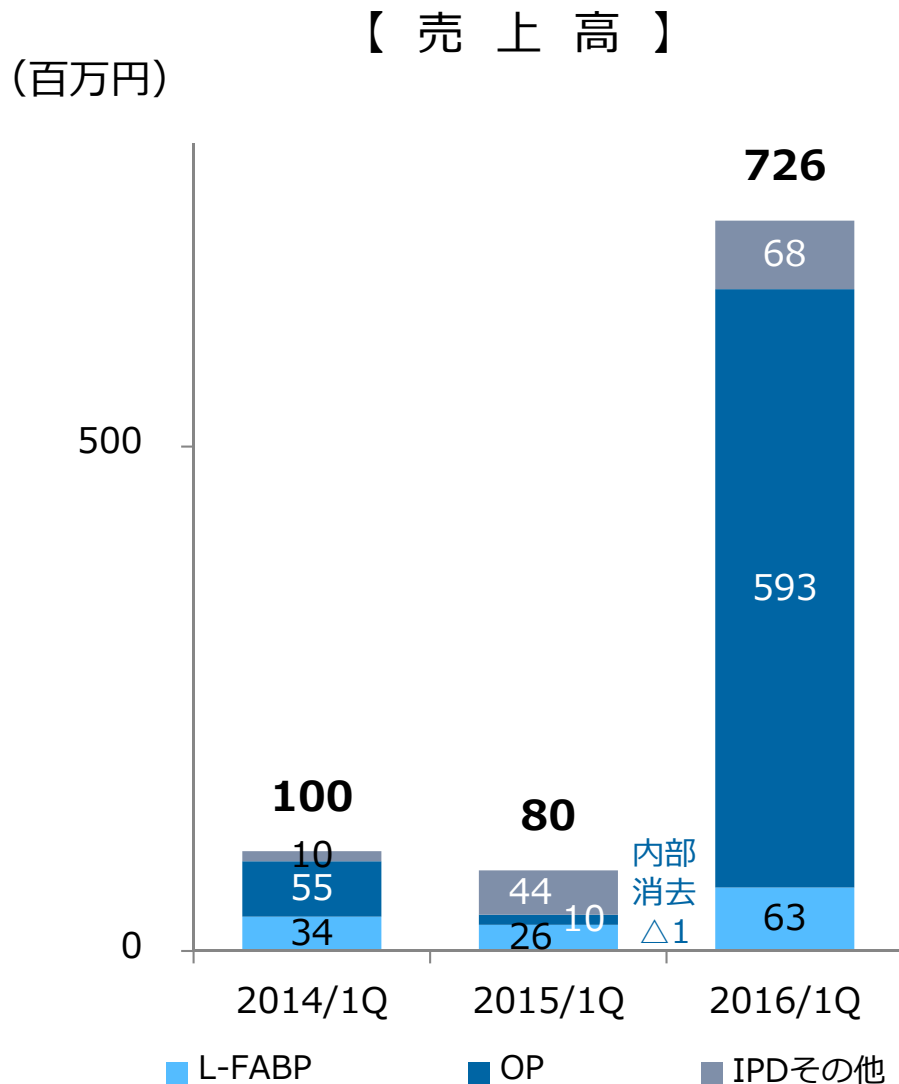


【営業利益】



営業活動の強化、医療機関ネットワーク拡大の推進など新規受注獲得に邁進、受注は回復傾向。プロジェクト管理の徹底、コスト削減の実施など、経営効率化のための施策を推進。既存案件が堅調に進捗したこと等により売上高は前年同期を大幅に上回る。経営効率化のための施策の継続実施により営業損失が大幅に縮小。

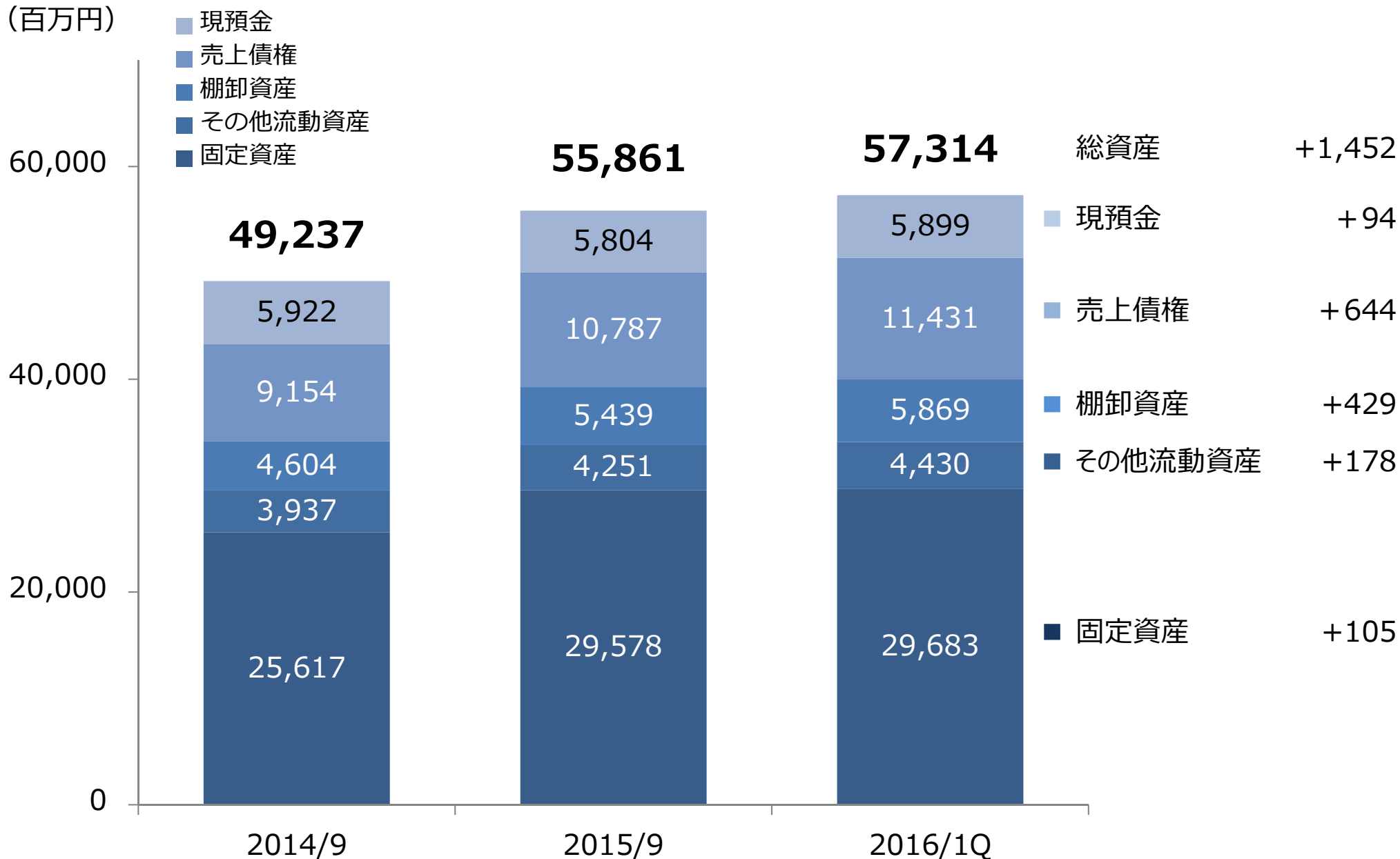
知的財産開発（IPD）事業



診断薬開発において簡易検査（Dip-test）キットの開発に取り組む。製薬企業から製造販売承認の承継を受けたオーファンドラッグ等の販売及び製薬企業との共同販促を行うなど、売上規模の拡大を図る。診断薬及びオーファンドラッグ等の売上が大幅に増加したこと等により売上高及び営業利益が前年同期を大幅に上回る。

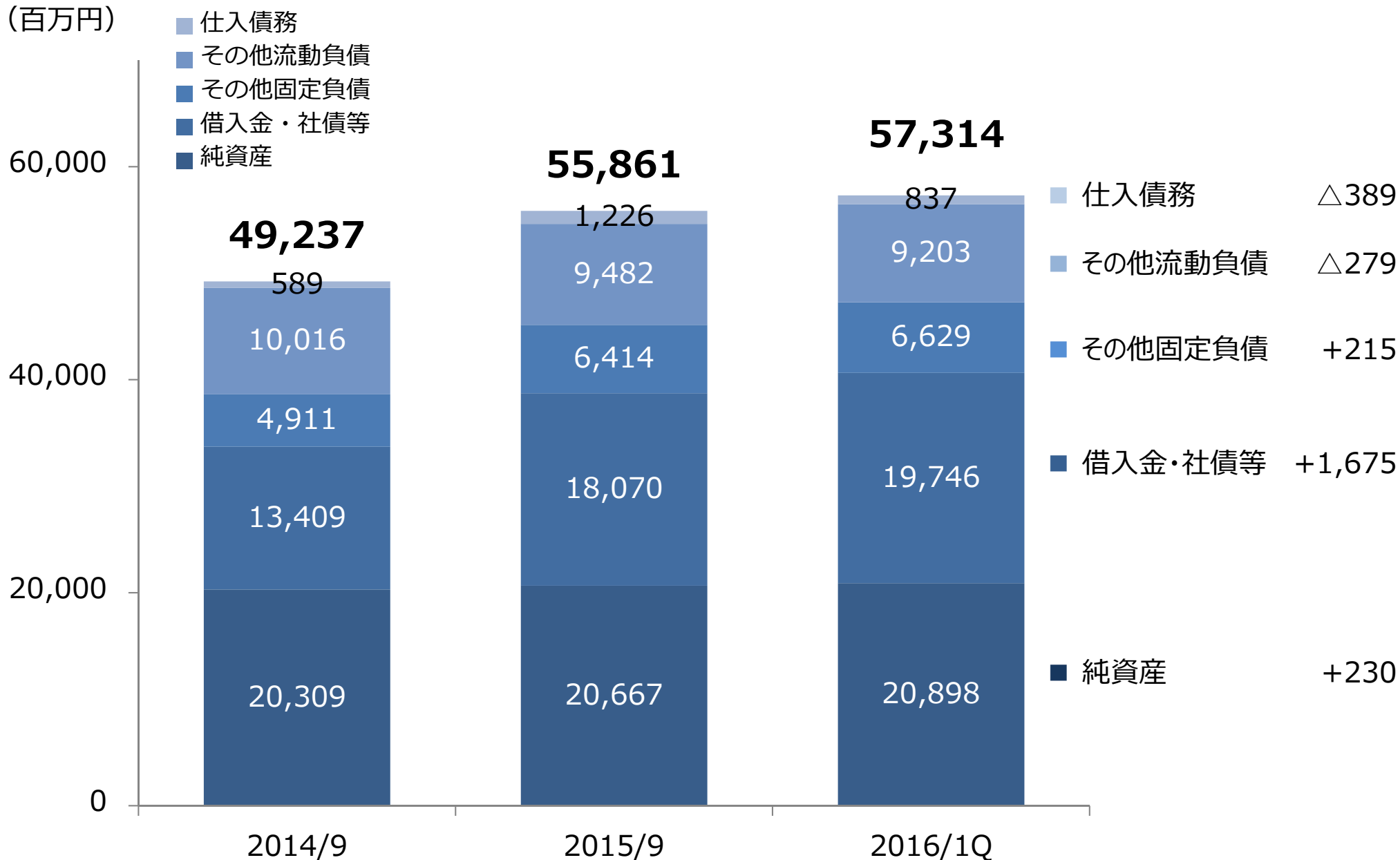
貸借対照表（資産の部）

(百万円)



貸借対照表（負債の部・純資産の部）

(百万円)



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。